

Exercise_s6:浅い海洋に関する問題 6

♪ カッコ内の語句の中で最も適切なものはどれか答えなさい。

1. ラピタ人と呼ばれる、(メシア、ペルー、ネシア、ノキア) の人々は、古くから航海術を身に着けていた。
2. 火山噴火予知連絡会は、2011年に(108、110、1500、2000)個の火山を、活火山と認定した。
3. 気候変動の周期性は、①離心率の変化、②自転軸の傾き変化、③歳差運動による変化が複合して発生すると考えられており(モホロビッチ、ナウマン、ミランコビッチ)サイクルと呼ばれている。離心率の変化はおよそ(2、4、8、10)万年周期である。
4. 巨大噴火では、地球規模の気候変動が起こる。縄文期の三内丸山では寒冷化に伴い(粟、米、麦)が収穫できなくなり、土地を追われた。日本人などのホモ・サピエンスは、日本で発生したわけではなく、様々な研究の結果(南極、アメリカ、アフリカ、中国)で発生し、(数万年、十数万年、百数十万年)前に世界中に向け旅立った。
5. 最終氷期の最寒期は、約(1.5、2、3)万年前に起こり、平均的な海水準は現在より(60、120、180)mほど低下していたと考えられている。
6. 鹿児島県で出土する丸ノミ型磨製石斧は、世界最古の磨製石器と考えられており、その形状から(家の柱、荷車、舟)を作るときに使われたと目されている。また、鹿児島県の上野原遺跡では、(尖底土器、平底土器、火焰土器)が多数出土しており、これら多くの考古学的証拠は南九州の文化水準が本州に比べて(2000、5000、8000)年ほど先行していた事を示唆する。
7. 人類は、(アフリカ、アメリカ、オーストラリア、日本)で発生し世界各地に広がっていった。
8. 数万年前の寒冷化に伴って、ユーラシア大陸から日本列島へ、(マンモス、マグロ、ホモ・サピエンス)が一足先に渡ってきており、その後4~3万年前に(ホモ・サピエンス、マンモス、渡来系弥生人、ラピタ人)が渡ってきた。
9. 地球の寒冷化に伴って、海水準が低下すると(コンチネンタルライズ、深海平原、大陸棚)が陸地となり、約七万年前に陸地化した東南アジア地方は(ズンダズンダ、スンダランド、サフルランド)と呼ばれている。
10. 縄文時代、貝文土器を作っていた人々は、(阿蘇カルデラ、始良カルデラ、鬼界カルデラ、阿多カルデラ)を構築した巨大噴火によって、九州に住むことが難しくなった。この火山噴火は、九州のみならず日本の広い範囲に(温暖化、寒冷化、笑い)をもたらしたとされる。
11. 南九州で安定した生活送っていた約7300年前の縄文人は、(阿蘇、始良、鬼界、阿多)カルデラの大噴火によって住むところを奪われた。この噴火は地球規模の寒冷化をもたらしたと考えられており、一般にこのような現象は(nuclear, Meteoritic impact, volcanic) winterと呼ばれている。
12. 氷期から間氷期に移り変わる2万年よりもあたらしい時代には、現在の東南アジアを中心とした(ディズニールランド、ミツイグリーンランド、スンダランド)は、次第に水没し始める。
13. 噴火によって被災した縄文人が、(貿易風、偏西風、季節風)を使って南下したのち、(黒潮、北赤道海流、赤道反流、極東風)を使って東に進めば、ペルーに辿り着くことは可能かもしれない。
14. 約(5万年、3万年、2万年、1万年)前には、地球の(寒冷化、温暖化)が進む。そのため、オープンウッドランドの縮小に伴って、(イルカ、クジラ、マンモス、アフリカゾウ)が移動を開始し、日本列島にも人々が移り住んできた。その時、人類の大規模な移動には、(薄片、剥片、白片)石器の登場が欠かせなかった。